

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道



令和2年庚子 住職年頭挨拶

かふく あざな なわ こと

「禍福は糾える縄の如し」

司馬遷（紀元前145年頃～紀元前87年頃）『史記』より

幸せと災いは表裏一体であり、紡ぎ合った縄のように変わる変わるやって参ります。成功も失敗も、幸福も不幸も、善も悪も、好きも嫌いも、縄のように交互し、諸行無常、絶えず移ろい変化するものであります。

この言葉は、今より2,000年以上前、紀元前の中国漢代に活躍した史家の司馬遷が著した歴史書『史記』に記されております。同書より「臥薪嘗胆」「背水の陣」「四面楚歌」等多くの故事成語が生まれ、また昨年に令和へと改元されましたが、我が国の過去の元号も幾つか引用されております。

さて、昨年に於ける当山の一年は、正にこの諺とおりでございました。春に長年に亘る念願であった落慶を果たした新本堂、秋に境内地及び墓所が、産業廃棄物投棄による厄災により残念ながら被災しました。

雨降って地固まる。復旧に向けた強い決意をもって、檀信徒の皆様始め縁に繋がる方々と共に精進をいたします。

本年も宜しくお願い申し上げます。合掌

令和2年 龍源寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4～1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/8 大般若大施食会法要
- 3/17～3/23 春季彼岸会
- ※春彼岸会 筆供養法要
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 大施食会併蚕影山例祭法要
- 7/13～7/16 京浜地区盂蘭盆会
- ※7月下旬(一泊二日) 第39回子供禪の集い
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13～8/16 盂蘭盆会
- 9/19～9/25 秋季彼岸会
- ※10月 檀信徒研修旅行
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古
- ※隔週金曜日 華道教室
- ※毎月1回土曜日 ヨガ教室
- ※は、本寺仁叟寺様に修行

令和2年 回数表

一周忌	平成三十一年 令和元年	二十三回忌	平成十年
三回忌	平成三十年	二十七回忌	平成六年
七回忌	平成二十六年	三十三回忌	昭和六十三年
十三回忌	平成二十年	五十回忌	昭和四十六年
十七回忌	平成十六年	百回忌	大正十年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。
 ※2 該当檀信徒各家には、封書にて通知が届きます。
 (但し、百回忌を除く)

龍源寺境内地及び墓所被災についてのご報告

昨秋発生した台風19号は、甲信越地方及び東北地方に甚大な被害をもたらしました。被害に遭い亡くなられた物故者のご冥福をお祈りし、被災された方の御見舞、被災地の日も早い復旧を祈念いたします。

当山に於きましても、台風19号による記録的な豪雨により、10月12日午後12時30分に、蚕影山裏山より土砂崩れが発生。墓所21区画に大きな被害が出ました。裏山山頂付近に於いて人為的に長年に亘り投棄され堆積された土砂と大量の木材等産業廃棄物が、豪雨により流れ落ちた事が主たる原因であります。

江戸時代初期に当地に移転以来380年間、大きな自然災害とは無縁の当山であります。このような事態となりましたこと、被災されました皆様のご心痛、察するに余りあります。災害発生後、直ちに消防、警察、市役所、県庁、宗門等関係機関に連絡をとり、当地区長を中心とした近隣住民、総代長総代人を中心とした檀信徒と緊密に連携を取り合い、「原状回復」と「再発防止」に向かい、歩みを進めて参りました。

また人的被害及び本年4月に落慶法要を修行いたしました新本堂を始めとする建物被害はなく、不幸中の幸いでもありました。

当山と被災をされました檀信徒の皆様方と共に寺檀一如となり、早急なる原状回復に向けて、山内一同鋭意精進をいたします。檀信徒の皆様方に於かれましては、ご理解ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。報告に代えさせていただきます。

復旧に向けて

当山では被災以来、頻繁に総代会始め臨時役員会、被災者説明会、墓所抜魂合同法要、関係機関との打合せ等をつとめました。原状回復に向け、作業を施し、順調

新本堂にて供養



に進めば本年春彼岸会には墓石塔開眼会合同法要を修行する予定です。被災墓所諸精霊のご遺骨は、その間、新本堂にて祭壇を設け、責任をもってご供養いたしております。

被災された皆様、当寺の檀信徒ほか関係各位には、既に文書等でご通知ご報告申し上げましたが、この度の災害は人為的な色彩が非常に濃い厄災であります。原因者である某造園会社及び土地所有者との協議は勿論、行政、第三者機関等とも慎重に審議を重ねておりますが、全てが円滑に進んでいる訳ではありません。紆余曲折も予想されますが、先ずは原状回復に向け、被災檀信徒、当山総代人を中心とする檀信徒、地元区長を中心とする地区の皆様と共にしっかりと歩みを進めておりますので、ご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。

尚、ご法要や墓参は従前通り行えます。ご不明な点あれば、お問合せ下さい。



被災当日の状況（10月12日撮影）



産廃土砂撤去後（11月12日撮影）

仁叟寺ヨガ教室 開講

昨秋より、仁叟寺ヨガ教室を開催しております。記念すべき第1回目となった10月12日土曜日は、台風19号直撃となり残念ながら中止となりました。第2回目となる11月9日土曜日が初日となりまして、お陰様で老若男女30名を超える方々が集い、盛会裏につとめることができました。また第2回目は12月14日土曜日となり、同じく盛會に仁叟寺ヨガ教室が圓成出来ました。講師のMinami先生には、初心者が多い中、懇切丁寧なご指導を賜わり、有難うございました。

ヨガは仏教と同じくインドが発祥であり、呼吸法など坐禅とも繋がりががあります。また性別年齢を問わず、健康にも大きな効果があります。

本年も引続き仁叟寺ヨガ教室を、下記のと通りの日程で午後4時から予定しております。老若男女、ヨガ経験問わず参加することが出来ます。費用は1回500円で、講習時間はおよそ45分ほど。持参品はバスタオル（ヨガマットも可）1枚で、ヨガに



仁叟寺ヨガ教室チラシと第1回目の様子

仁叟寺 ヨガ教室

今年はお通算第2回目50分45分開講予定

第1回 午後4時より
令和元年 10月12日(土曜日)

第2回 午後4時より
令和元年 11月9日(土曜日)

第3回 午後4時より
令和元年 12月14日(土曜日)

参加費 500円
入会費なし、お布施なし、修業費なし
お布施はご任意です。

【持ち物】
ヨガに適した服装
バスタオル1枚
ヨガマットも可

講師 minami先生
仁叟寺
100台可能

お問い合わせ先
仁叟寺 山内三子
〒370-2123 群馬県高崎市井原町1295
電話: 027-331-0060 FAX: 027-331-4976
e-mail: jyoouji@stan.wind.ne.jp
URL: http://www.jyoouji.net/

令和2年 仁叟寺ヨガ教室 予定
1月25日 土曜日 午後4時～
2月22日 土曜日 午後4時～
3月21日 土曜日 午後4時～

に適した服装にて仁叟寺までお越しただければと思います。本年の予定は以下のとおりですが、当山及び講師の予定で変更になる場合もございます。詳細は仁叟寺までお問い合わせ下さい。

自らを洲とする ～東日本大震災被災地支援～



去る11月14～15日に掛けて、東日本大震災被災地域である福島県に伺って参りました。本年も恒例となった物故者慰霊法要を南相馬市新祥寺様本堂に於いて修行。奉仕作業を、住職ほか群馬県曹洞宗青年会有志と福島県曹洞宗青年会合計12名で、被災地域である南相馬市小高地区にてつとめさせていただきました。今回も南相馬市の新祥寺野田精頭住職を窓口に、慰霊及び語り部研修会、作業を行いました。語り部研修では、震災当時に避難所開設及び運営に携わった元南相馬市職員の方の片平様を迎え、当時の貴重なお話を伺いました。有難うございました。ほか南相馬市小高区の除草と撤去作業等を福島県群馬県両県青年会員が力を合わせ行い、皆と共に汗を流しました。

早いもので本年3月11日で、丸9年が経過いたします。風化させることなく、出来る人が出来る時に出来る事を行う。引き続き、これからも協力をさせていただきますと考えております。

白田博総代長 年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます

昨年は龍源寺本堂落慶法要、蚕影山例祭、大施食会、得度式などが近隣寺院様にご参集いただき、盛大に執り行われました。

元号も新たに「令和」と代わり、菩提寺の事業も一段落と落ち着いてほっとした矢先、台風19号が発生し、関東甲信越及び東北地方に甚大なる被害をもたらしました。龍源寺も記録的な豪雨に見舞われ、蚕影山裏山より、土砂崩れが発生。長年に亘り大量の投棄された木材や土砂など産業廃棄物で、境内地と墓所21区画に大きな被害が出ました。被災された檀信徒の皆様のご心痛、察すること計り知れません。ご住職始め総代人さん、地区地元区長さんなど、多くの方にご尽力をいただき、幾度となく足を運んでご苦労賜りました。今ではやっと復旧に向けての作業が、担当の業者さんに頑張ってもらって進んでおります。

昨年は予期せぬ事もありました。今年は令和と共に新年を迎え、自然豊かな多胡地区にある歴史ある菩提寺龍源寺が、本堂も新築を果たしました。檀信徒の皆様が、ご先祖様に見守られ、これからもご縁を結んでいただくお檀家様が、一軒でも多く増えてくれることを



落慶法要で挨拶をする白田博総代長

願っております。

また、総代さん役員さんには盆前の夏と正月前の冬の年2回、草木の刈込、庭木の手入れ、清掃などの奉仕作業にご参加いただき、有難うございました。

最後に皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。合掌

龍源寺総代人一同

白田 博 木村照夫 篠崎悦一

檀信徒の皆様へ

住所等の変更がありましたら、必ず菩提寺までご連絡を下さいますよう、お願いいたします。

行雲流水（編集後記）

編集人 住職 渡辺龍道

昨年春に、長い星霜を重ね、慎重審議し、多くの方々に善意のお志を頂戴し、新本堂が完成し、落慶法要を修行させていただきました。しかしながら、秋には人為的要素が原因の厄災が、境内地及び墓所を襲いました。

被災後、御見舞を届けてくれた方、直ぐに駆けつけて下さった方、温かいお言葉—これを道元禅師は愛語と申しましたが—を掛けて下さった方、辛い時には深く心に染み入ります。皆様も辛い時、苦しい時、悲しい時を過ごす方を見かけられまたら、是非温かい言葉を掛けてください。

地球温暖化により台風など自然災害の大型化と発生件数も多くなっていると伺っております。「備えあれば憂いなし」。自身の家族や地域など、縁のある方々と防災はもとより事故や災害に備える「備災」について、話し合ってください。

本年も宜しくお願い申し上げます。合掌

冬季おてんま終了後の当山風景

